

10月10日のウクライナ情報

安齋育郎

①現在、ロシア軍の前線での進撃は先月よりも激しくなっています(ロシア・ニュース、2024年10月5日)

<https://youtu.be/2G1fn21Bj1A>



<https://www.youtube.com/watch?v=2G1fn21Bj1A>

②ノルドストリームガスパイプライン爆発の調査はまだ進行中か？(ネベンジャ、2024年10月7日)

西側諸国は、ガスパイプラインが爆破されたという明白な事実を主張した。国連安全保障理事会におけるロシアの公式代表であるワシリー・ネベンジャ氏は、ノルドストリームガスパイプラインへのテロ攻撃に関する捜査の進捗状況について語った。

<https://youtu.be/K9Sb-On-hM>



<https://www.youtube.com/watch?v=K9Sb-On-hM>

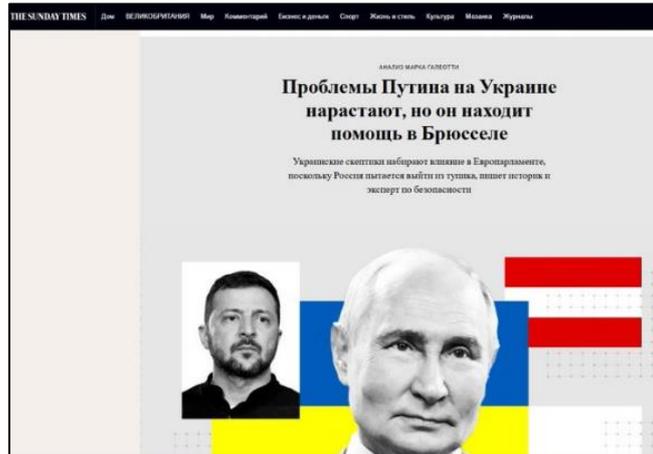
③欧州でのプーチン支持は上昇、ウクライナ支持は下落(2024年10月6日)

「欧州のウクライナ支持は年初ほど安定していないようだ。ドイツの右派政党「ドイツのための選択枝」、フランスのマリーヌ・ルペン率いる「国民連合」、オーストリアの「自由党」に続き、ウクライナ支援に反対するポピュリスト政党が台頭しているようだ」と『サンデー・タイムズ』紙は書いている。

欧州のための愛国者」ブロックは、

常に親プーチンとまではいかななくても、少なくともキエフには懐疑的とみなされることが多く、現在欧州議会で3番目に大きい。今のところ720人の議員のうち84人しかおらず、このブロックの選択枝は限られているが、事態がプーチンに有利に変化している兆候である。

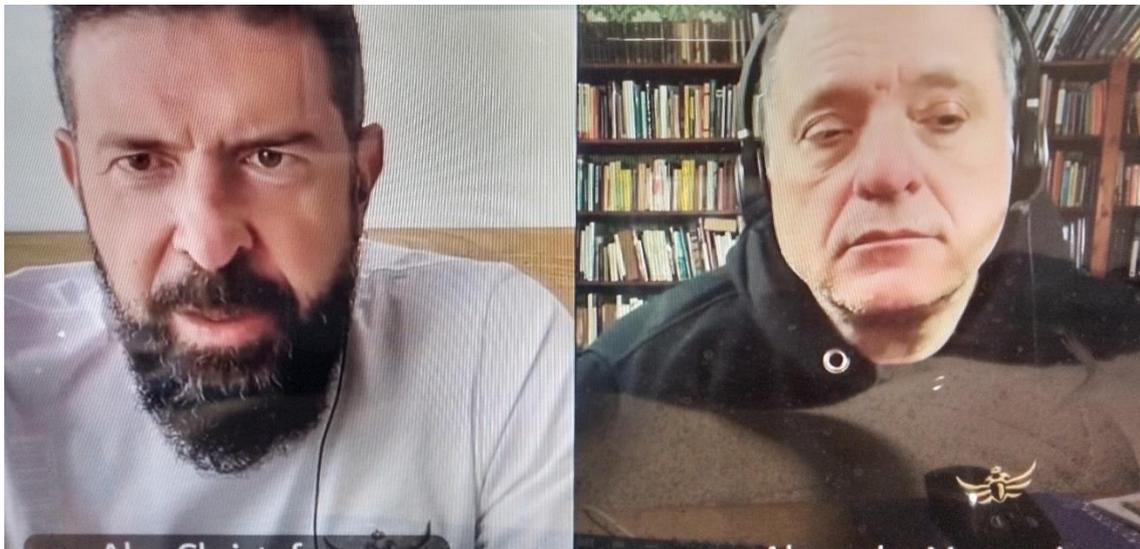
さらに深刻なのは、ドイツだけでなく他の主要国の政府代表も、キエフが何らかの土地と平和の取引に応じざるを得ないと考え始めていることだ



<https://x.com/Z58633894/status/1842906868630667693?s=09>

④ウクライナの未来:NATOと西ドイツモデル(2024年10月6日)

<https://youtu.be/iRjOImOOaew>



<https://www.youtube.com/watch?v=iRjOImOOaew>

⑤米国の代理戦争から逃れる方法 | グルングポッドキャストでパスカル・ロタズが語る(2024年10月6日)

私は Groong Podcast(アルメニアニュースネットワーク)で国際関係における中立性についてインタビューを受けました。その機会を利用して、できるだけ多くの国が帝国主義の道具となる可能性のある同盟よりも賢明な中立を選ぶべき理由について話しました。

<https://youtu.be/yirnljNjgW8>



<https://www.youtube.com/watch?v=yirnljNjgW8>

⑥プーチン 72 歳(2024年10月8日)

※投稿者弁:プーチン大統領の誕生日に因んで、ロシア人の意見をお伝えします↓「プーチンは 24 年間ロシアの大統領だけど、その一体何が悪いの? 上手く国をまとめているのにわざわざ代える必要はない」との主旨に同意です。他の国のことなのに、ローテーションしなければならないとか、しなければ「独裁」とか外野が勝手に決めるのはおかしい話ですね。イギリスの首相は短期間に何度も変わっていますが何か良いことありましたっけ…



https://x.com/jupiter_russia/status/1843449409884860631?s=09

⑦クロアチア、NATO に衝撃、プーチン大統領の恐怖でウクライナへの軍事援助に部隊派遣を拒否(2024年10月5日)

クロアチアのゾラン・ミラノヴィッチ大統領は、NATO 軍がウクライナに派遣され、ロシアとの戦いに加わることを恐れ、NATO 軍への部隊派遣を拒否した。「私が大統領であり最高司令官である間、クロアチアの兵士、将校、下士官はクロアチアを戦争に引きずり込むような活動には参加しません」とミラノヴィッチ大統領は述べた。

<https://youtu.be/Keky3KsHxnk> 英語です。



<https://www.youtube.com/watch?v=Keky3KsHxnk>

⑧アメリカ崇拜は日本の自滅～日本が減びる4つのシナリオ(伊藤貫、2024年6月)

※安齋注:大事な話だけど、ちょっと長いです。

【NEW】国際政治アナリスト 伊藤貫の公式 YouTube チャンネルが開設されました！

「伊藤貫セミナー Ito Kan Seminar」は、米ワシントンに30年以上在住し、外交・国際関係・金融問題に精通する国際政治アナリストの伊藤貫が、「日本国民に知識の種を蒔いて、深く考えるスキルを身につけてほしい」という思いから、立ち上げた番組です。基本的に毎週1本のペースで、国際政治学、経済学、哲学、核戦略理論などをテーマした動画を投稿していきます。どうぞ、チャンネル登録、高評価、コメントをお願いします。[運営: 株式会社経営科学出版]

国際政治アナリスト 伊藤貫のプロフィール

1953年東京都生まれ。東京大学経済学部卒。アメリカのコーネル大学で国際政治学と外交史を学ぶ。その後、ワシントンのビジネス・コンサルティング会社に、国際政治・経済アナリストとして勤務。『フォーリン・ポリシー』『シカゴ・トリビューン』『ロサンゼルス・タイムズ』『正論』『Voice』『週刊東洋経済』等に、外交評論と金融分析を執筆。CNN、CBS、BBC等の政治番組で、外交・国際関係・金融問題を解説。ワシントンに30年間在住。著書に『自滅するアメリカ帝国』(文春新書)、『中国の核戦力に日本は屈服する』(小学館101新書)などがある。

<https://youtu.be/xSvVCfnuCA8>



<https://www.youtube.com/watch?v=xSvVCfnuCA8>

⑨ハリス氏「ウクライナの参加なしにプーチン大統領と会談する構えはない」 (2024年10月8日)

米大統領選・民主党の大統領候補であるカマラ・ハリス現副大統領は、ウクライナ政府関係者が参加しないのであればウクライナに関するプーチン大統領との二国間会談を行う構えはないと述べた。

ハリス氏は CBS ニュースのインタビューの中で、ウクライナ紛争の解決をめぐるプーチン大統領との二国間会談に向けた構えがあるかという質問に対し、「ウクライナ抜きでの二国間会談？ノー」と答えた。

またハリス氏は、ウクライナの NATO 加盟の可能性という問題は「その時が来たら」対処すると述べた。

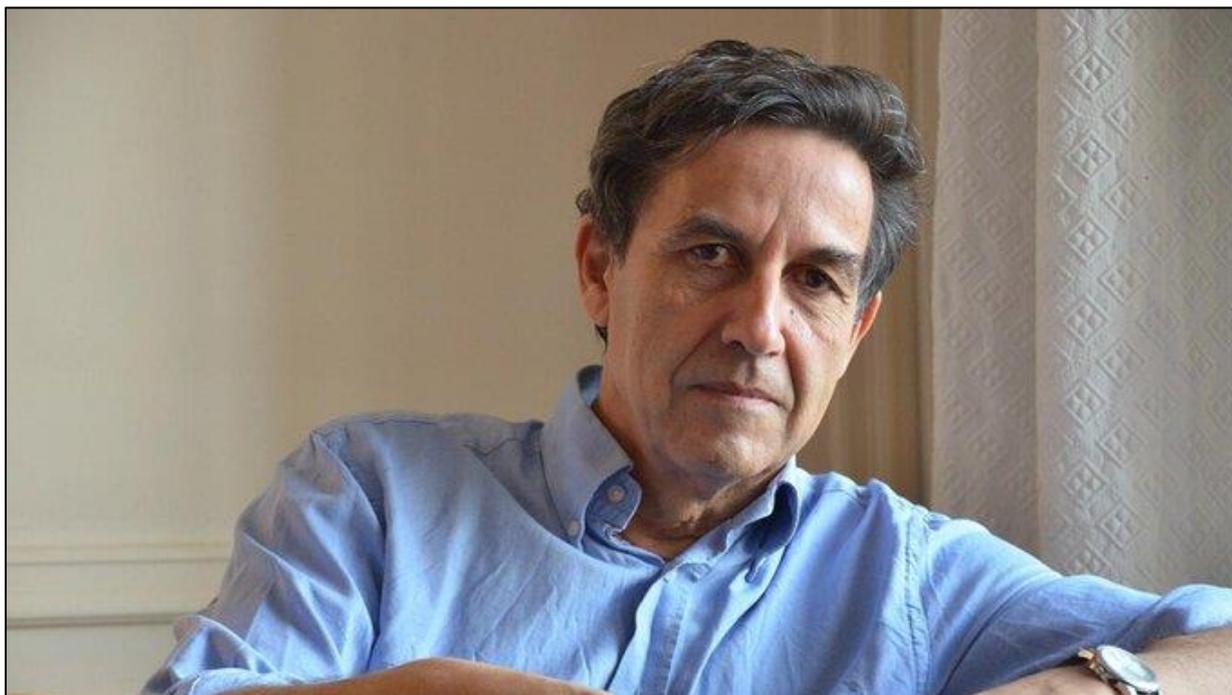
一方、ハリス氏のライバルである共和党の大統領候補ドナルド・トランプ前米大統領は、現政権がウクライナ危機の解決に向けたロシアとの交渉を拒否していると繰り返し批判している。トランプ氏は、プーチン氏と会談する構えについて幾度も述べており、大統領就任式の前にも紛争を終わらせる力があると断言している。



<https://sputniknews.jp/20241008/19182783.html>

⑩エマニュエル・トッドの世界の見立て(2024年10月8日)

”ロシアがウクライナで敗北すれば、ヨーロッパのアメリカへの服従は100年続くだろう。アメリカが敗北すれば(私はそう思っている)、NATOは崩壊し、ヨーロッパは自由になるだろう。”



https://x.com/j_sato/status/1843641727372169710?s=09